

JAとりで通信

第351号

2019年12月20日



発行 JAとりで総合医療センター

〒302-0022 茨城県取手市本郷 2-1-1
TEL 0297(74)5551 (代)

E-mail: toride@medical.email.ne.jp
URL: http://www.toride-medical.or.jp/

発行人 新谷 周三

MRI 装置を 最上機種(3.0T)に更新

キヤノンメディカルシステムズ社製 3.0T-MRI

高画質 圧迫感が減少 騒音の低減

～来年2月中旬頃から稼働～

MRI (Magnetic Resonance Imaging: 磁気共鳴画像) とは、放射線を使用せず、強い磁気と電磁波を使って体内の状態を断面画像として描出する検査で、今日の医療において欠かすことのできない検査の1つとなっています。

当院では、令和元年11月まで静磁場強度1.5TのMRI装置2台で検査を行っていましたが、この内1台のMRI装置を現在の最上機種であるキヤノンメディカルシステムズ社製3.0T-MRI装置に更新し、来年の2月中旬頃から新たに稼働します。こちらのMRI装置は、茨城県初の導入となります。

3.0T-MRI装置は1.5T-MRI装置よりもT(テスト)という磁気の強さが2倍となったことで、高画質画像の撮影が可能となりました。従来はあまりよく見えなかった脳の抹消血管などの細かい場所や四肢、腹部においてもきれいな画像が得られるようになりました。

今回導入されるMRI装置の特徴として、従来のMRI装置よりも広くて明るい開放的なトンネルとなります。これまで対応が困難だった体格の大きい患者さんや閉所恐怖症の方、小さなお子様、腰の曲がった高齢の患者さんにも、検査時の圧迫感が少なく無理のない姿勢で検査を受けることができようになります。



新しく導入される
キヤノンメディカルシステムズ社製 3.0T-MRI 装置



奥野生涯学習センター(牛久市)での
出前講座

11月12日、牛久市の奥野生涯学習センターで出前講座を開催し70名が出席されました。牛久市内での出前講座は初めてとなります。会場には奥野小地区社会福祉協議会の皆様と、牛久市牛久第二中学校の1学年の生徒さんが総合学習の時間として聴講されました。テーマは「脳卒中と認知症の予防について」で、当院の脳神経内科の石原正一郎部長が講演。石原部長は脳卒中予防の10か条を紹介し、麻痺やしびれ、ろれつが回らないなどの症状が現れた場合はすぐに医療機関を受診することを強調しました。また認知症の予防のためには、血圧や血糖、コレステロールのコントロール、さらに適度な運動が大切だと述べました。



八重洲ニュータウン自治会館(取手市)
での出前講座



藤代公民館(取手市)での出前講座

11月14日は八重洲ニュータウン健康クラブの皆様へ出前講座を開催しました。「歯と口の健康づくり」「ドライマウス(口腔乾燥症)について」というテーマで当院の野島矩子歯科衛生士が講演し、会場の八重洲ニュータウン自治会館には23名の皆様が来場されました。野島歯科衛生士は「ドライマウスを放置すると虫歯になりやすい」など、ドライマウスの原因や影響、予防方法などについて図や写真を使い解説しました。ビデオ映像で唾腺マッサージについてもご紹介し、会場の皆さんにも練習して頂きました。会場の皆様からは、食後の歯磨きを行うタイミングや災害時の歯磨き方法などについて質問が出され、「大変参考になる内容でした」という声もかけて頂きました。

JAとりで総合医療センターの出前講座申込み方法

- ① ご希望される出前講座の日時、場所、テーマについて下記までご連絡下さい。
- ② 当方で検討後ご返事し、申込み書を提出して頂きます。費用はかかりません。

ご連絡先 JAとりで総合医療センター広報室 佐藤
TEL 0297-74-5551 FAX 0297-74-2721

出前講座

牛久市内で初めて開催

11月に3回開催

合計186名が出席

景、理由を考えてあげる。②自分で出来ることはやってみよう。③見守る」の3点についても説明しました。

タウン自治会館には23名の皆様が来場されました。野島歯科衛生士は「ドライマウスを放置すると虫歯になりやすい」など、ドライマウスの原因や影響、予防方法などについて図や写真を使い解説しました。ビデオ映像で唾腺マッサージについてもご紹介し、会場の皆さんにも練習して頂きました。会場の皆様からは、食後の歯磨きを行うタイミングや災害時の歯磨き方法などについて質問が出され、「大変参考になる内容でした」という声もかけて頂きました。

11月28日、藤代公民館の藤代学園の皆様へ「転倒を予防する」というテーマで出前講座を開催し、藤代公民館の講堂には93名の皆様が来場されました。当院の平利奈子理学療法士が講演し、家の外より家の中の方が転びやすい点や転倒により健康寿命が低下することについてグラフなどを使い説明しました。

また会場の皆様に積極的に転倒する場面の動画を観て頂き、どうすれば転倒を防止できるかを一緒に考えて頂きながら手すりを設けるなどの予防法を解説しました。皆さまで体幹や大腿四頭筋などを鍛えるための運動も行なって頂き、平利氏は「転倒予防対策の根本は活動量を増やすことであり、”貯筋”をしましょう」と呼びかけました。

脳卒中について

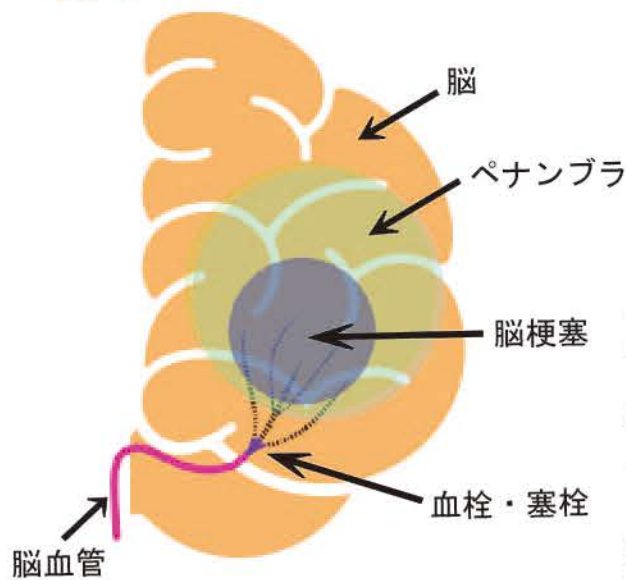
第3回

脳梗塞の治療 ①

脳神経外科部長
河野 能久



図1



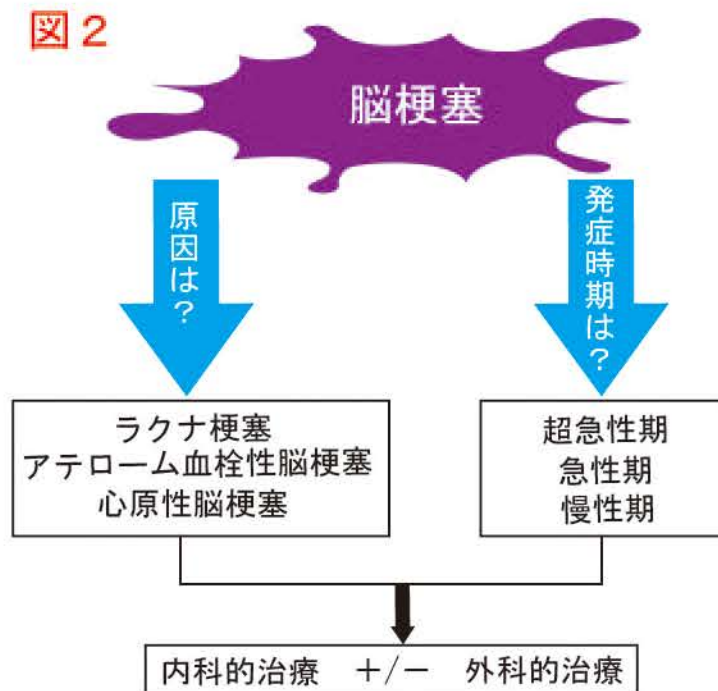
脳梗塞の治療は、前回分類した病気の原因によって異なることに加え、発症してから内容が大きく変わります。発症してから時期には、大きく分けて3つ、「超急性期」（発症から数時間以内）、「急性期」（発症から1〜2週間以内）、それ以後の「慢性期」があります。

脳梗塞は、脳の血管が詰まることで脳の細胞が死んでしまう病気ですが、血管が詰まったからといってその支配領域の全ての神経細胞が即座にだめになってしまいうわけではありません。脳梗塞の中心部分ではすぐに死んでしまう細胞もありますが、周囲には徐々に、ある程度の時間をかけて脱落していく細胞もあります。この、発症直後はまだ細胞が生きている部分を「ペナンプラ」と言います。

「超急性期」を過ぎ、脳梗塞が一度完成してしまうと、その範囲を小さくすることは残念ながらできません。このため、「超急性期」の次の「急性期」の治療は、完成してしまった脳梗塞は仕方ないとして、脳梗塞がその周囲の健康な脳へ悪影響を及ぼすことをいかに防ぐか（二次的障害防止）、次の脳梗塞を起こすことをいかに予防するか（再発防止）、また、脳梗塞による症状をいかに回復させるか（リハビリテーション）、が主な目標になります。

「急性期」を過ぎ、「慢性期」に入れば、今回の脳梗塞による危険な状況はひとまず落ち着いた、と言えます。しかし、病型にもよりますが、脳卒中の再発率は1年で10%前後、5年で30%程度と高いことが知られています。このため、「慢性期」の治療は、リハビリテーションに加え、再発防止に注力していくことになります。

図2



健康管理センターからのお知らせ



ミニドック

生活習慣病が気になる方、人間ドックが初めての方へお勧めします。

検査項目

- ・診察・身体測定・腹囲・視力・聴力・心電図
- ・血液検査：貧血、肝機能、脂質、血糖値等
- ・尿検査・胸部レントゲン検査・胃バリウム検査

検査料金 21,000 円（税込）

実施期間 令和2年1月～5月



日帰り人間ドックのオプション検査

下記の期間中に人間ドックを受診される方で、受診前にお申込み頂いた方のみ、オプション検査を下記の料金で受けれます。ただし健保からの助成金がある方や受診が終わった方は対象外となります。

検査項目と料金（税込）

- ・乳腺超音波検査 料金 2,000 円
- ・乳腺超音波検査
+マンモグラフィー（セット） 料金 5,500 円
- ・骨粗鬆症検査 料金 2,500 円

実施期間 令和2年1月～3月

NEW FACE

センパイからの

新人紹介

中山 翔

なかやま づばさ

★臨床工学技士

★趣味

ボルダリング



★ 仕事は真面目に働いています。話も上手く楽しい感じの青年です。ぜひ見かけたら声をかけてください。応援よろしくお願いします。（平木先輩）

竹下 彪我

たけした ひゅうが

★臨床工学技士

★趣味

スポーツ



★ 恰幅のいい感じですが意外と繊細な心の持ち主。とても丁寧な仕事ぶりを披露しています。自信を持って働けるよう応援よろしくお願いします。（平木先輩）